

旅に生き旅に逝きたる

連作和歌 百首歌集

2020/10/26-2025/1/15

- 9401 旅に生き旅に逝きたる芭蕉翁わが山旅のはたては何処（ひであき）（10月26日 13時06分）
- 9402 霜月の空の裂け目に見る富士の雪少しなりけふも生きなむ（れん）（11月8日 18時08分）
- 9403 霊峰は吾の心の支えなり雲より雪の降りつつ積もる（白馬）（11月20日 22時25分）
- 9404 一日は一生なりと過越して仰ぐ不二の嶺常に新たし（丹仙）令和三年正月（1月1日 00時00分）
- 9405 西に富士東に筑波見晴るかし坂東太郎悠々とゆく（やんま）（1月6日 09時42分）
- 9406 幾たびの災禍にめげず筑紫次郎初雪の野を悠々とゆく（水）（1月6日 20時31分）
- 9407 この年の富士の姿のあらあらと白雪すこし悲しみせまる（れん）（1月12日 17時34分）
- 9408 病む友に顔色いいねと言ひ帰る悲しき嘘の一日哀しき（やんま）（1月16日 09時30分）
- 9409 抗がん剤投与の前の振袖の写真哀しや他人ごとならず（丹仙）（1月18日 09時40分）
- 9410 「天へ来て癌の痛みは消えました」やすらぎおぼゆ妻の遺影に（水）（1月18日 11時00分）
- 9411 白雪の富士久なれる思い出は吾が生れし月の二月めのまえ（れん）（1月27日 23時52分）
- 9412 一歩づつ一息づつの余生かな亡き妹の思い出胸に（やんま）（1月30日 21時13分）

- 9413 花をまた見られますかと問ひし君ひそと逝きけり寒のこの夜に (丹仙) (2月1日 20時33分)
- 9414 微笑みて感謝とともに眠るかな生死の切れ目なき友なりき (昌) (2月7日 16時02分)
- 9415 旧友の「年賀欠礼」受けつつもこちらの訃報に触れず返信(莉由) (2月13日 12時36分)
- 9416 勧誘の旅の魅力に迷ひつつ暫し自粛と淋し返信 (やんま) (2月20日 14時25分)
- 9417 淋しさに寄せ来る波も如月の光りを負ひて砕け散るかな (ひであき) (2月23日 10時56分)
- 9418 ころろよりたよりもなきかさびしきえ押しもどさるる頼りなき身は (れん) (3月5日 20時30分)
- 9419 杖一本頼りて今日の万歩計八十路の徘徊帰路を急がず (やんま) (5月2日 08時41分)
- 9420 湯豆腐の無味に滋味知る八十路よし半合酌んでみそひと文字を (水) (5月2日 14時16分)
- 9421 78ましきとしとなりにし生命なるみなぎわいきつ癌さなか (れん) (8月14日 09時55分)
- 9422 今生の山坂幾つ越え来たり一病息災納豆人生 (やんま) (8月21日 16時03分)
- 9423 この朝も納豆をかくごま油少し垂らして広がる思ひ (れん) (8月23日 06時21分)
- 9424 生卵200回溶き納豆も200回混ぜいつもの朝食 (白馬) (10月9日 22時08分)
- 9425 様々なコロナ文化を残しつつ何百回の事態終息 (やんま) (10月10日 17時10分)
- 9426 隣人の「引っ越します」の挨拶に言葉浮かばず「お大事に」とのみ (莉由) (10月14日 15時59分)
- 9427 神村の希いききたりこの山の小さき祈り天にとどけと (れん) (11月7日 19時02分)
- 9428 道順をスマートフォンに問ひたればこの山道の最短路指す (やんま) (11月14日 15時41分)

- 9429 行き止まり戻る落葉に見送られこの同行のいつまでつづく（ひであき）（11月16日 17時11分）
- 9430 黄瀬川に橋を架けたる礼聖の同行二人いまも続けり（丹仙）（12月12日 14時30分）
- 9431 晴れる日もまた曇る日も霊峰の気に包まれつ川は流るる（やんま）（12月16日 07時50分）
- 9432 点らないストーブに尻と両手あて談笑する人昭和の残像（水）（12月24日 10時53分）
- 9433 夭折のいのちの火影求めつつ昭和の水の相聞を聴く（丹仙）（12月27日 10時19分）
- 9434 八十路にて大病を得て治療する術施すは平成の医師（やんま）（12月27日 21時37分）
- 9435 マスクして眼と眼を交はす吾（あ）と汝（なれ）は魂の医師ルカの書を読む（丹仙）（1月1日 00時10分）
- 9436 医師なれるひとの父君世を去りぬオリオンひときは大きくかかる（れん）（1月3日 11時04分）
- 9437 街に垂るる大オリオンの四辺形数十億の民を包みて（秀昭）（1月8日 20時08分）
- 9438 瞬ける星の命の冷たさよ漂う吾に銀河静まる（やんま）（1月8日 21時14分）
- 9439 12才で見たりしオリオンこの山にいつしか年余は66ねん（れん）（1月11日 08時41分）
- 9440 今は亡き人思ひけり復生の山を映せし蓮池の冬（丹仙）（1月12日 08時18分）
- 9441 リハビリの日課の散歩に巡る来る蓮池の風胸に冷たし（やんま）（1月18日 22時26分）
- 9442 巡り来る季節は早し一月の風に揺れみるカレンダー（秀昭）（1月25日 17時51分）
- 9443 ワクチンを受けるついでに街中を歩いてみれば春の兆しも（莉由）（2月3日 14時22分）
- 9444 春待たずはるかな旅路ひとり発つ義弟かの日の握手の別れ（寂）（2月3日 22時29分）

- 9445 幾度の出会いひと別れ重ね来てけふ徘徊の春の寒さよ（やんま）（2月4日 11時01分）
- 9446 遠く来て出会いと別れふり返る春の訪れ待たれる夕べ（ひであき）（2月12日 08時24分）
- 9447 春寒き国境の街ゆきわかれ老母は祈るレントの夕べ（丹仙）（3月22日 16時05分）
- 9448 浮き浮きと遊び呆けて花の冷え母の形見の杖を突きつつ（やんま）（3月26日 20時15分）
- 9449 見えてきた春満開の米寿峠ヨチヨチ歩きて一步二歩三歩（水）（3月29日 10時42分）
- 9450 一步二歩止まりて一本二本摘む左手のなか土筆あふれて（ひであき）（3月29日 12時59分）
- 9451 つくし野に一日あそべば遥かなるわがふる里よわが青春よ（寂）（3月30日 22時53分）
- 9452 貨物船長き水の尾引きゆける丘の眺めも春の爛漫（やんま）（4月17日 08時08分）
- 9453 伊藤屋の袋小脇に闊歩する銀座通りは今春爛漫（ひであき）（4月20日 14時03分）
- 9454 伊東屋に三十余年を勤めいる吾娘銀座のしもべとなりて（寂）（4月22日 21時41分）
- 9455 原罪に余罪重ねて人類は神のしもべを放棄せむとす（やんま）（5月7日 22時39分）
- 9456 はまなすの紅き花びら吾が罪の洗わるるごと心よりゆく（れん）（6月12日 08時52分）
- 9457 功ある王もまた一人(いちにん)の罪あるものとダヴィデは歌ふ（丹仙）（9月26日 05時08分）
- 9458 圧政に抗する君はフィレンツェにダビデの像を作り玉へり（晶）（10月8日 15時29分）
- 9459 毫碌の中にも息吹く創造の風に新たな船出致さむ（丹仙）（10月29日 10時33分）
- 9460 呼吸することも悦ぶこのいのち愛しくなりぬ降誕の歌（晶）（12月10日 16時58分）

- 9461 聖母汲む井戸に降りたる空の星いまも輝く深き水底 (丹仙) (12月18日 10時12分)
- 9462 大海を知らぬ我にも恵まるる冲天の星井戸の水底 (晶) (12月23日 19時16分)
- 9463 インマヌエル原受肉ぞや人生の底の底にや秘められたるも (時) (12月29日 10時26分)
- 9464 毫碌の身にも息吹ける春の風仰ぐ不二の嶺つねに新らたし (丹仙) (1月1日 09時15分)
- 9465 切株に息吹ける木の芽あまたなる母のごとに風吹きわたる (ひであき) (1月11日 15時14分)
- 9466 滝のごと枝垂れし桜千年の時超えゆきて風を孕めり (丹仙) (4月25日 13時47分)
- 9467 野の花や如何に育つか知らんむとて御友共にや原受肉聴く (時) (12月31日 13時16分)
- 9468 パレスチナ・ユダヤの民と手を取りて共に聴かなむ平和の歌を (丹仙) -バレンボイムに倣ひて- (1月1日)
- 9469 ウクライナ・ロシアとユダヤ・パレスチナ仲良くすれば平和は戻る (白馬) (1月3日 22時58分)
- 9470 人はみな平和を望むさりながら心の隅に潜む暗闇 (素人) (4月23日 23時02分)
- 9471 眠れども心目覚めし幼な子を閑かに護る聖家族かな (丹仙) (12月31日 14時49分)
- 9472 イマヌエル翻へりてや原受肉無自性なるに大悲事 (じ) に寄す (時) (12月31日 15時06分)
- 9473 吾が心底無き底は天上の御国に通ず永遠の御友に (丹仙) (12月31日 15時49分)
- 9474 この接点踏みて幼子現れぬクリスマスのや歓喜その基 (時) (12月31日 17時26分)
- 9475 嬰兒抱くシメオン賛歌あらたしき年始まりぬ主の奉献日 (丹仙) (1月1日 00時00分)
- 9476 初春や御友の恵み朗々と汝と共あれ悲惨こえてぞ (時) (1月2日 08時40分)

- 9477 キリストは何処にいます 今此処に汝の言葉のうちにこそ (丹仙) (1月2日 11時41分)
- 9478 御友さまいずこ在すか尋ぬれば御父の許よ我妻共に (時) (1月3日 16時11分)
- 9479 洗礼者ヨハネ聖母に寄り添ひて十字架の悲を分つ岩窟 (丹仙) (1月3日 19時37分)
- 9480 在天の父御姿や大悲とぞ明らめられし春ぞ嬉しき (時) (1月4日 08時05分)
- 9481 難民となりし聖母子エジプトに憩わず目指すは夢の父祖の地 (丹仙) (1月4日 19時59分)
- 9482 泰西はシリアを厭ひ難民を容るるトルコはクルド赦さじ (晶) (1月5日 09時27分)
- 9483 ムスリムに主の平和説くフランシス 今甦る十字架の愛 (丹仙) (1月5日 15時41分)
- 9484 アヴェ・マリア天使のお告げ聞きし時夫ヨセフの胸中如何 (紀) (1月6日 18時07分)
- 9485 主は共に居ますはマリアのみならずヨセフも汝(なれ)も永遠(とわ)の現實 (丹仙) (1月6日 20時04分)
- 9486 インマニエルその事実より届きたる無者の福音新しき神学 (晶) (1月7日 20時53分)
- 9487 夜を徹し祈れば初日昇り来るアレルヤこそは歌の始まり (丹仙) (1月8日 07時02分)
- 9488 初弥撒や大統領も加わりて天魔のごとく十字切るなり (紀) (1月10日 19時10分)
- 9489 政治家は皆スカルピオ テ・デウム歌へどトスカを想ふ (晶) (1月11日 09時34分)
- 9490 我が父の家に居ませるイエズスに博士も親も驚きあやしむ {丹仙) (1月11日 09時56分)
- 9491 亜米利加の不動産屋もおそろしや緑の島と美 (は) しき関税 (紀) (1月12日 07時56分)
- 9492 キリストの降臨恐るへロデ王天の御国を賜ふる方は滅びの国を奪ふことなし (丹仙) (1月12日 08時42分)

- 9493 恨（はん）の國大統領も悲しきや進むも引くも二河の白道（紀）（1月12日 19時25分）
- 9494 離脱こそルサンチマンを超ゆる道世を捨てずして入る寂静（晶）（1月13日 07時34分）
- 9495 洗礼は光の神秘キリストに倣ひて祈る新（あらた）しき生（丹仙）（1月13日 10時33分）
- 9496 米国は山火事よりも恐ろしき貧富の格差移民の排除（紀）（1月14日 10時32分）
- 9497 黙示とや老いも幼なも預言せり涙を拭ふ新天新地（晶）（1月14日 13時30分）
- 9498 人の為みずから死せる主の御名を称へよ天地共に響かふ（丹仙）（1月14日 18時04分）
- 9499 将軍は肥太りけり捕虜となる兵士俯く首の細さよ（紀）（1月15日 07時15分）
- 9500 南北を問はず独裁末期なり部下親族も裏切りの顔（晶）（1月15日 08時37分）